



「医」を届ける。
ROCINANTES
ロシナンテス

ロシナンテスを

寄付で支援

ロシナンテスの活動は、
皆さまからのご寄付で支えられています。

継続的に支援 月1,000円・年3,000円からご支援いただけます

①クレジットカード／ウェブサイトよりお手続きください。

<https://www.rocinantes.org/support/donate/member/>

②銀行口座自動振替／所定の申込用紙を送付しますので、ロシナンテスまでご連絡ください。



継続的に支援
ウェブサイトへ

今回のみ支援

①クレジットカード／ウェブサイトよりお手続きください。

<https://www.rocinantes.org/support/donate/single/>



今回のみ支援
ウェブサイトへ

②郵便振替／以下の口座をご利用ください。 ③銀行振込／以下の口座にお振込みください。

郵便振替口座:00940-2-213477

口座名:認定NPO法人ロシナンテス

※郵便局(ゆうちょ銀行)の窓口から上記の口座に
払込みの場合、払込み手数料が免除になります。

銀行名:福岡銀行

支店名:三萩野支店

口座番号:普通預金 1733240

口座名:特定非営利活動法人ロシナンテス

その他の支援

他にも様々な形でのご支援方法がございます

- 古本で支援
- 物品で支援
- パソコン購入で支援
- 携帯を通じて支援
- 電気を通じて支援
- ポイントを寄付
- はちみつ購入で支援
- オリジナルクレジットカードで支援
- 法人のご寄付
- 遺贈・相続財産のご寄付

活動を知る・伝える

私たちが取り組む課題を知り、伝えていただくことも大きなご支援です

- メールマガジンを読む
- 講演映像を見る
- 報告書・会報を読む
- 写真集を見る
- 本を読む
- SNS SNSをチェックする
- イベントに参加する

●その他の支援、活動を知る・伝えるの詳細はこちら

<https://www.rocinantes.org/support/>

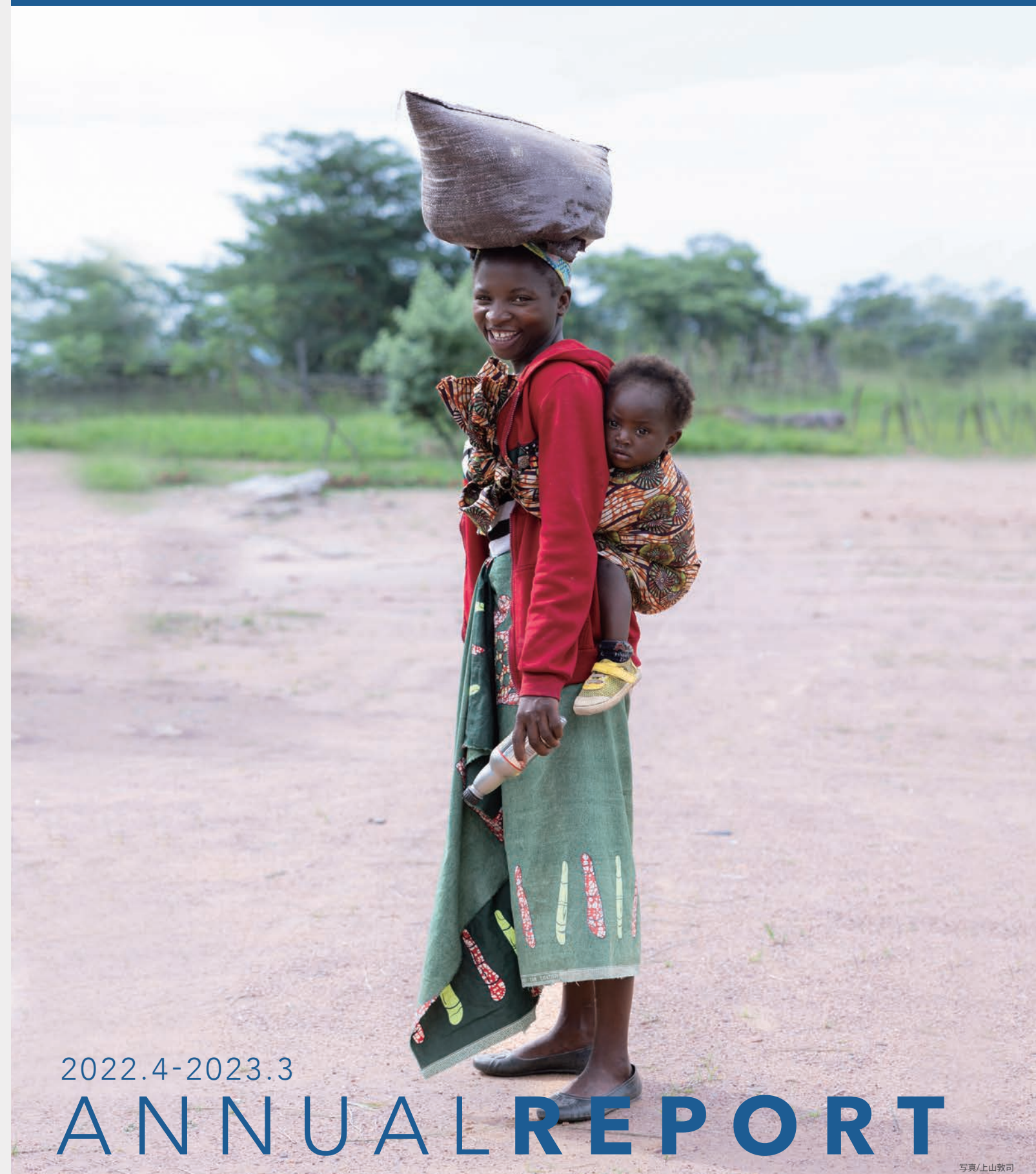


「医」を届ける。
ROCINANTES
ロシナンテス

私たちNPO法人「ロシナンテス」の名前は、小説「ドン・キホーテ」に出てくるドン・キホーテが乗る痩せ馬のロシナンテに由来しています。「私たち一人一人は痩せ馬ロシナンテのように無力かもしれないが、ロシナンテが集まり、ロシナンテになれば、きっと何かできるはずだ!」と考え、「ロシナンテス」と名付けました。今後もこれを信念として一步一步参ります。

認定NPO法人ロシナンテス

〒802-0082 福岡県北九州市小倉北区古船場町1-35 北九州市立商工貿易会館7F TEL:093-521-6470 FAX:093-521-6471 ✉ info@rocinantes.org



2022.4-2023.3

ANNUAL REPORT

写真/上山敦司

[2022年度] 認定NPO法人ロシナンテス年次報告書

子どもたちは輝ける未来。

いつも、スーダン、ザンビアの人々のため、お心を寄せていただきありがとうございます。皆さまからの一方ならぬご支援により、ロシナンテスは17年目を終えることができました。これもひとえに皆さまのあたたかいお力添えのおかげであります。心から御礼申し上げます。

ここ数年のスーダンは不安定な状況でしたが、スタッフの奮闘もありハルツーム州郊外に水施設（ハフィール）、北コルドファン州に3校の学校を建設することができました。地域住民が自分達の施設、学校であるとの認識が高く施設管理を自分達で行ってくれています。

また、最初の活動地であるガダーレフ州シェリフ・ハサバツラ村を視察することができました。10年以上前に建設した診療所、給水施設、女子小学校の全てが機能していました。診療所スタッフは当時と同じ人も働いていて、村落助産師さんたちも元気に活動をしていました。小学校を卒業して大学に進学している子どもたちが女の子を含んで複数いたことは望外の喜びでした。

子どもたちは輝ける未来です。新しい学校に通う北コルドファン州の子どもたちにも笑顔が広がっていました。幸い、2023年4月15日に発生した軍事衝突の戦火は地方に広がっていき

せんし、我々が建設した施設で被害に遭ったという報告は受けていません。この子どもたちのためにもスーダンの支援は継続していく所存です。もちろんスタッフの安全が確認できるような状況になればとの条件つきです。

一方ザンビアは、争いはなく平和です。医師でない診療所スタッフのトレーニングを行い、妊婦健診に小型エコーを導入しています。マザーシェルターがあるムワブラ診療所のスタッフが拡充され、この地域の母子保健事業が今まで以上にしっかりとってきています。また当団体の理事である高山義浩先生が半年間にわたってザンビアで活動をしてくださいました。

さらに日本の国際保健の第一人者である喜多悦子先生、高山先生とで今後の国際保健のあり方を現地で議論できました。喜多先生は「国際保健は新しいフェーズに入った。今までとは異なるバージョン2を見出さないとね」と言われていたのが印象的でした。また、多くの学生さんがザンビアを訪問してくれました。彼らの今後の国内外での活躍も楽しみです。

2022年度を無事に終えることができた矢先、スーダンで軍事衝突が発生し、日本人職員は全員国外に退避せざるを得なくなりました。今回の退避に関わってくださった全ての方々に感謝を申し上げます。退避の際には、支援者の方々から多くの激励のメッセージを頂きました。この応援があったからこそ、頑張ることができました。本当にありがとうございました。

ロシナンテスを応援する仲間たちはスーダン、ザンビアそして日本で確実に広がり強固になっています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

最後にスーダンの内戦が1日も早く終わることを祈っています。

ロシナンテス
代表 川原尚行

「医」を届ける、そして平和を諦めない。

CONTENTS

- 01 ごあいさつ
- 03 ビジョン・ミッション
- 05 スーダン事業
- 08 ザンビア事業
- 11 国内活動
- 13 会計報告
- 14 団体概要／スタッフ紹介

ロシナンテスとは

病院がない。医者がいない。
途上国には、厳しい現実がまだまだ存在します。

ロシナンテスは、そのような地域に暮らす人たちに医療を届ける活動を続けています。
医療施設のない村々を回って医療を提供し、国や地域と協力しながら診療所をつくり、
給水所の整備や学校建設、栄養改善など、包括的な保健事業を整備することで、
現地の人たちだけで医療を継続できる仕組みづくりをしています。

ひとはみんなの為に、
みんなはひとりの為に



写真／内藤順司

MISSION

〈ミッション〉

使命・役割

病院が無いなどの理由で、
必要な医療が受けられない地域に、
医療が届く仕組みを整備することで、
一人でも多くの命を救う。
そして、誰もが健やかに生きることが
できる環境をつくる。

VISION

〈ビジョン〉

目指す将来像

支援した地域の人たちが、
「医療」を自分たちのものとし、
地域の人たちだけで
医療を継続できる
仕組みが根付いている世界。

VALUE

〈バリュー〉

活動理念

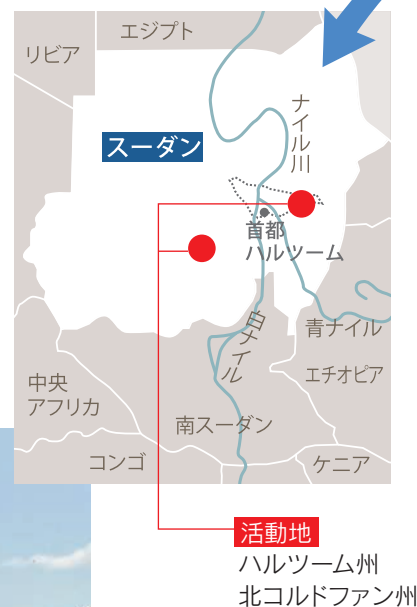
目の前で困っている人を助ける
家族の絆と地域の和を大切にする
ひとはみんなの為に、
みんなはひとりの為に

ロシナンテスの活動

スーダン事業

様々な障壁を乗り越えて
スーダンの人々と未来をつくる

スーダンの国土の大半は砂漠ですが、
その広大な砂漠には、診療所も井戸もない村々が点在しています。
こうした地域に医療や清潔な水を届けることで、
人々の暮らしを改善していきます。



01 水事業 「安全な水が命を救う。」



ロシナンテスが診療所を建設したワッド・シュウエイ村において、診療所に清潔な水を供給するために、地域の水源の水量確保と水質改善を目指して、ハフィール（雨水貯水用池）の改修事業に取り組みました。

乾季の水不足を解消、 水質汚染を防ぐ

これまで利用されていたハフィールは、深さが足りないために、乾季になると干上がってしまう問題がありました。これを解決するため、既存のハフィールの横に新しく深いハフィールを掘削し、貯水量の拡大を図りました。

また、タンク内に清潔な水を貯め、必要な時に取水できるよう、緩速砂ろ過による浄水システムや、水をくみ上げるための動力であるソーラーパネルの設置を行いました。さらに、家畜が侵入して水を汚染しないように、ハフィールの周りには堤防とフェンスを設置し、別途家畜用の水飲み場をフェンスの外に設置しました。

地域住民への維持管理研修、 衛生啓発活動

ハフィールを住民が自分たちで維持管理できるよう水委員会を設置しました。委員会メンバーにハフィールの管理方法の研修を行ったほか、住民に対しても手洗いなどの水衛生に関する啓発活動を実施しました。

この活動によって、必要な量の水を使用できない、汚染された水しか手に入らないなど、様々な課題を抱えていたワッド・シュウエイ診療所で、水が利用できるようになります。また、乾季になると水が足りなくなり、遠くまで水を汲みに行ったり、高いお金を払って給水車から水を購入したりするしかなかった近隣住民たちも、水を近くで

ハフィール改修事業

期間 2021年2月事業再開～
2022年6月

地域 ハルツーム州シャルガニール地域
ワッドアブサーレ区
ワッド・シュウエイ村

対象 ワッド・シュウエイ診療所
近隣住民2,000人
家畜8,000頭

現地パートナー機関
ハルツーム州水公社

手に入れられるようになります。

大きな作業は完了しましたが、今後、診療所の建物内で水を取得できるようにするなどの、より安全性や利便性を高めるための追加工事を予定しています。

縦75m横60m深さ4mの貯水池を掘削



02 学校事業 「子どもたちの学びの場を守る。」

これまで栄養改善事業や給水所建設を行ってきたオムサマーマ区の学校では、校舎や施設が老朽化し厳しい状況にありました。そこで、学習環境と衛生環境の改善を目指し、小学校3校の改修と建設を行いました。

度重なる事業停止を乗り越え

2019年の事業開始後、政変や新型コロナウイルスの流行で度々ストップしましたが、2022年5月から再び工事を再開することができました。現地パートナー団体と協力し、特に厳しい状況にあった2校の改修と1校の建設を行いました。

校舎の建設・改修、机と椅子の導入を行ったほか、トイレや手洗い場、焼却炉、家畜の侵入を防ぐフェンスも設置しました。壁が崩落し危険だった校舎や、ボロボロで読みにくかった黒板もきれいになり、子どもたちが快適な環境で授業を受けられるようになりました。

学校管理研修・ 村の人たちの創意工夫

学校完成後には、維持管理を担ってもらうために、地域住民、教員、生徒の代表による学校管理委員会を設け、学校管理と公衆衛生についての研修を実施しました。

また、学校で用いる水は、当初給水所から口バで運ぶ予定でした。しかし、地域住民が資金を集めてタンクを設置したことで、敷地内で水を利用できるようになりました。こうした住民による創意工夫がうまれたことは、とてもうれしいできごとでした。



〈現地からの声〉オムサマーマ区の複数の学校を統括している先生



「以前の校舎は危険だったため、せっかく通学し始めた子どもたちが離れていくこともありました。日本のみなさんのご支援のおかげで、安心して学べる環境になり、また子どもたちが学校に戻ってきました。本当に心から感謝しています。」



快適な環境で授業を受けられるように

03 その他

「執刀医の負担軽減を目指して」

太陽商事株式会社様より無影灯ヘッドライト「ウェアラブル手術用照明OPELA III」をご提供いただきました。この手術用ヘッドライトは、ハルツーム州保健省の協力のもと、ロシナンテス設立前に理事長の川原が働いていた国立消化器肝臓病センターに寄贈が行われました。これにより、限られた設備に加え、たびたび停電する環境の中で尽力するスーダンの執刀医の負担を大きく減らすことができ、手術を必要とする人々へよりよい医療を届けることにつながります。

さらに、この寄贈の病院側の窓口であり、2006年九州大学で生体肝移植を視察したアブデルムネム医師の尽力により、7月22日スーダンでは初となる生体肝移植が実現しました。この手術で、寄贈した「ウェアラブル手術用照明OPELA III」が使用されました。

手術用照明寄贈	
期 間	2022年4月
寄贈先	イブン・シーナー病院 国立消化器肝臓病センター
寄贈元	太陽商事株式会社



© Hafsa boraiei
OPELA III を装着して手術に臨むインド人外科医Mohamed Rela氏

ロシナンテスの活動

ザンビア事業

ここで産みたいと思える診療所を目指して
ザンビアの妊産婦に寄り添う



写真/上山 敦司



ザンビアの村落部では、診療所へ行くのに歩いて何時間もかかる村も多く、出産には様々な危険が伴います。事業を通して、安心して出産できる環境を整えます。

01 エコー導入事業

「地域の診断体制を整備し安全な出産を可能に。」

ムワプラでの成功事例をスケールアップ

2021年度に、マザーシェルターを建設したムワプラ診療所に小型エコーを導入しました。診療所出産の増加、健診受診率の上昇など、大きな成果がみられたため、同じチサンバ郡の他の地域からも要望が寄せられました。そこで、2022年度は、郡内の5箇所の診療所にエコーを導入しました。

ロシナンテスのスタッフと講師が各診療所へ出向き、そこで働くスタッフに5日間の研修を実施しました。研修の目的は、胎児の頭の位置や妊婦の胎盤の位置等、「胎児や妊婦の危険な状態を正確に見極める」ことです。これにより、小さな診療所では対応できないような問題を事前に見極め、問題があれば直ちに設備の整った大きな施設での出産を促すことができるようになることを目指しました。

ザンビアの産婦人科医師を招き、研修後も助言を仰げる関係を築いています



エコー導入事業

期間	2022年6月～9月
地域	中央州 チサンバ郡内の5つの診療所（チサンバ診療所、モンボン診療所、カナカンバ診療所、チベンビ診療所、マロンベ診療所）
対象	診療所の職員、同地域の妊産婦

SUDAN TOPIC RANKING

スーダン事務所トピック TOP 3

SUDAN TOPIC RANKING

TOPIC TOP 1

悲願のハサバツラ村を再訪

ロシナンテスの最初の事業地であるガダーレフ州ハサバツラ村に、10年越しに再訪することができました！ 過去に行った事業が住民たちの手で連綿と継続されていて、とても感動しました。



TOPIC TOP 2

佳代さん、陽介さんのスーダン来訪



いつものスーダン事務所のメンバーに加え、川原のパートナーである佳代さんが来訪。また、新しい事業計画のためにザンビア駐在員の田中陽介さんがスーダンに出張されました。

TOPIC TOP 3

インターネット環境の更新

事務所で利用していたインターネットサービスが終了になるということで、新たなアンテナを設置しました。通信速度の向上・安定を期待していましたが結果は…



02 ヘルスボランティア活動改善事業 「地域の強みを活かす。」



村落部での安全な出産を支えるヘルスボランティア「SMAG(Safe Motherhood Action Group)」の活動の改善を目指す事業を行っています。

2021年度に建設したマザーシェルターの運営を強化するため、2022年度は、郡保健局の協力のもと、新規SMAGの育成研修を行いました。

新たに認定された18名のSMAGメンバーは、その後、ムワプラを含む6つの地域の集団母子検診の場において、ローテーションで健康に関する講話活動を行いました。ロシナンテスは、講話実施時や各家庭巡回時にSMAGが使用する説明資料等の準備サポート、モニタリングを行いました。

認定証を受け取った
SMAGメンバー



写真/上山 敦司

ヘルスボランティア活動改善事業

期間 2022年5月～6月

地域 中央州 チサンバ郡 ムワプラ地域

対象 ムワプラ地域の新規SMAG18名

03 スタッフハウス建設 「十分な医療人材の確保を目指す。」

住民主体の活動に、ロシナンテスは側面支援

ムワプラ診療所はそれまで3名の職員で運営されていましたが、地域の医療ニーズに対して職員の数が足りておらず、日々の診療、母子保健活動に支障が出ていました。しかし住居がないために、人が派遣されないという状況にありました。危機感を持った住民たちが、ロシナンテスが関わり始める前から、診療所スタッフ住居の建設のため、自らお金を出し合い、建設資機材購入の準備を行っていました。そこで、ロシナンテスは、その住民たちの活動に一部の資機材購入を支援する形でサポートを行いました。

地域住民で組織された建設委員会が主体となって建設が進められ、11月に本体施設が完成しました。スタッフハウスの完成により、ムワプラ診療所には新たなスタッフが派遣され、3名から5名へと大幅に増員されました。これまで以上に充実したヘルスサービスを提供できるようになることが期待されます。



右から二人目が入居したヘブンさん

スタッフハウス建設

期間 2022年5月～11月

地域 中央州 チサンバ郡 ムワプラ地域

対象 診療所の職員

高山理事が見たロシナンテスの母子保健事業

ロシナンテスの理事であり地域医療と公衆衛生の専門家である高山義浩医師が、2022年11月から2023年3月までザンビアに駐在しました。滞在中、専門家の視点から事業への様々なアドバイスをいただきました。

ロシナンテスは、2019年より、ザンビアにおいて母子保健活動を展開しています。私は、昨年の11月から今年の3月まで、現地の活動に合流させていただきました。

ムワプラ村には、私たちが活動している診療所があり、8千人ほどの住民の健康を守っています。ロシナンテスは、そこで働くスタッフを技術的に支援しています。

さらに、ロシナンテスは、その敷地の一角に、出産待機施設としての「マザー

シェルター」を建設しています。診療所の看護師らと連携して、安全なお産を実現するべく支援を続けています。

また、ロシナンテスでは、ムワプラ村を含む6つの診療所に妊婦健診のための超音波機器を導入し、そこで働くヘルスワーカーたちをトレーニングしています。これにより、妊娠の異常を早期に発見することができるようになり、母児の命を守ることに繋がっています。

こうした技術の見える化によって、医療への信頼を高めて、妊婦健診への受診率を高める効果もありました。ヘルスセンターの看護師にとっても、専門的な技術を身に付けることで、より仕事に対するモチベーションが高まっており、責任感も増していると感じました。

時代の変化にも敏感かつフットワークよく、ロシナンテスは活動を続けています。とくに簡便に扱えて、携帯できるサイズの医療機器など、日本のもつ技術力は



2021年に完成した出産待機施設「マザーシェルター」

アフリカにおいても大きな可能性を有しています。ただし、地域住民との交流と共感、そして積み上げてきた信頼があつての科学技術だと思います。

今後もロシナンテスは、ザンビアの村人たちとともに、お母さんや子どもたちをはじめ住民の命を支えていきます。活動を支えていただいている皆様に心より御礼申し上げます。



写真/上山 敦司

ムワプラ診療所で導入した小型エコーを、2022年度は周囲の5つの診療所にも展開

ZAMBIA TOPIC RANKING

ザンビア事務所トピック TOP 3

ZAMBIA TOPIC RANKING

TOPIC TOP 1

高山理事のザンビア来訪

ロシナンテスの理事である、沖縄県立中部病院の高山医師が約4ヶ月間滞在。専門家の視点から様々なご助言を頂き、事業形成、運営に反映させることができました。



写真/上山 敦司

TOPIC TOP 2

喜多先生や学生など、様々な方が視察に

母子保健事業をさらに発展させるために、国際保健で長年活躍されている喜多悦子先生など、様々なバックグラウンドを持った方が事業地を訪問されました。



写真/上山 敦司

TOPIC TOP 3

美ら海水族館をザンビアの子どもたちに

沖縄美ら海水族館様のご協力のもと、ザンビアの子どもたちが海の生き物に触れ合う機会を作りました。オンラインでのライブセッションは盛況でした。



ロシナンテスの活動

国内での活動

TICAD8で2つのサイドイベントを開催

2022年8月27日、28日にアフリカのチュニジアでアフリカ開発会議（TICAD8）が開催されました。ロシナンテスは、2つのサイドイベントをオンラインで共催しました。



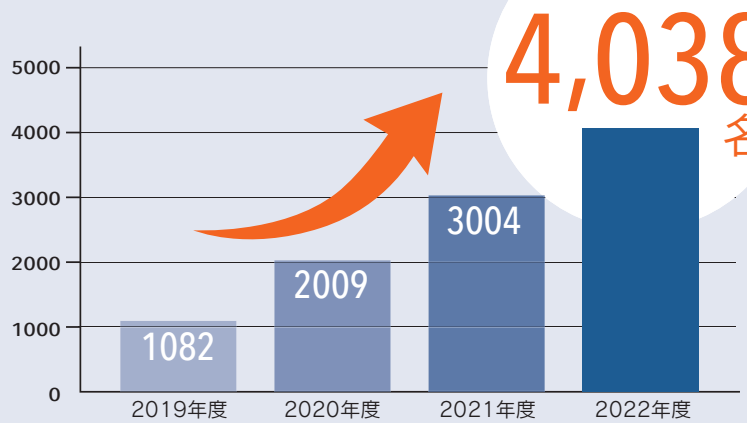
母子健康手帳と情報のデジタル化： アフリカの母子に対する恩恵と公衆衛生への貢献

長崎大学とWHO協会との共催で開催しました。日本にある母子手帳をデジタル化すること、そこで得られた保健情報を公衆衛生的に分析しヘルスセンターを通じて母親にお知らせするようなシステムを目指す活動について、関係者が共通認識を持ち、よりよい仕組みを考案するための情報共有と意見集約を行いました。

創薬やアフリカ伝承薬活用による健康的かつ、より良い生活を求めて

アフリカの薬草を生かして創薬を目指すことをテーマに熊本大学との共催で開催しました。熊本大学は、これまでにアフリカの教育機関等との連携のもと、アフリカの伝統薬の安心安全な利活用を目指し様々な取り組みを行っています。アフリカの公衆衛生の向上と健康的な暮らしの一助になると、ロシナンテスも協力している取り組みについて意見交換しました。

数字で見る国内活動



月1,000円からの継続支援で応援いただく「チーム・ロシナンテス」の仲間が、2023年3月末の時点で4,000名を超えました！皆さまの応援に心より感謝申し上げます。

都度の寄付によるご支援者 **956名**

法人によるご支援 **114社・団体**

※5万円以上のご寄付、あるいはサービス等協力のあった法人



メディア掲載数 **23件** 講演数 **17件**

広報イベント開催数 **12回**

※すべてオンライン

古本・物品寄付数 **158件**

ご支援者様さま
限定の動画コンテンツ
「ロシナンテの
小屋」も毎月
配信を行い
ました。

【ご支援いただいた法人の皆さま】

※五十音順・敬称略

【支援企業】

有限会社甘利造園建設
株式会社ウエスト
医療法人うかじ小児科医院
エクスリンク法律事務所
エムスタイルジャパン株式会社
社会保険労務士法人大竹事務所
有限会社お菓子のリーフ
おそうじの松田
株式会社オレスコーポレーション
神尾公認会計士事務所
北九州ソントクラブ
貴布禰総本宮 貴船神社
グリーン在宅クリニック
医療法人くわの整形外科クリニック
国際ソロプチミスト神戸西
医療法人社団寿会永山医院
西東みはる税理士事務所
株式会社産業保健コンサルティングアルク
品川イーストクリニック
昭立産業株式会社
株式会社シルバーク
株式会社鈴木工務所
一般社団法人仙台市医師会
SOMPOちきゅう倶楽部(SOMPOホールディングス株式会社)
東京浜松町眼科クリニック
医療法人東耀会
トップ保険サービス株式会社
内藤医院
医療法人なごみ
医療法人社団撫子高松メディカルクリニック
直方工業株式会社
パナソニック ホールディングス株式会社

公益財団法人 毎日新聞西部社会事業団
株式会社安川電機
YASKAWA未来クラブ
医療法人 弓皮ふ科
臨済宗妙心寺派
株式会社ワーキングハセガワ
有限会社ワークス

※10万円以上のご支援をいただいている企業、団体の皆さまを掲載しております。

【助成金・副賞】

公益財団法人 風に立つライオン基金

【サービス協力等】

gooddo株式会社
サンビット株式会社
株式会社STYZ
株式会社セールスフォース・ジャパン
ソフトバンク株式会社
太陽商事株式会社
つなぐ書店
TMコミュニケーションサービス株式会社(お宝エイド)
Doist Inc.
ナッジ株式会社
ハチドリ電力
株式会社 PR TIMES
ピープルポート株式会社
株式会社福岡銀行
株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
Boina Malana
Yahoo!ネット募金
Ritatrip
READYFOR株式会社

【ご支援いただいた法人の声】

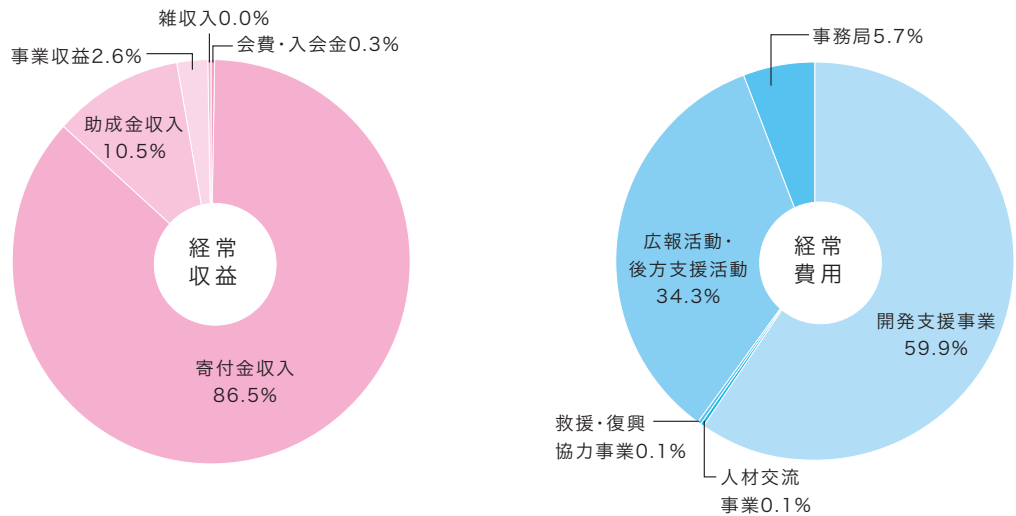
品川イーストクリニック 飯塚 敏也 様

海外渡航者の健康管理をバックアップ

当院は1999年に品川駅近くでクリニックを開業以来、人間ドック、トラベル外来を中心に、主に近隣のビジネスパーソンにご利用いただいております。日本を離れ慣れない海外での健康維持管理は現地での任務の成否に関わる重要なポイントです。一方、生活インフラの整備が進んでいない海外の国では感染症によって今でも数多くの命が危機に曝されています。「ひとりとはみんなのために、みんなはひとりのために」のテーマのもとスーダンでの医療支援を長年に渡り行っているロシナンテス代表、川原先生の命に対する熱い思いに共感し、クリニックとして微力ではありますがロシナンテスの皆様と心をつなにし引き続き応援してゆきたいと思っています。



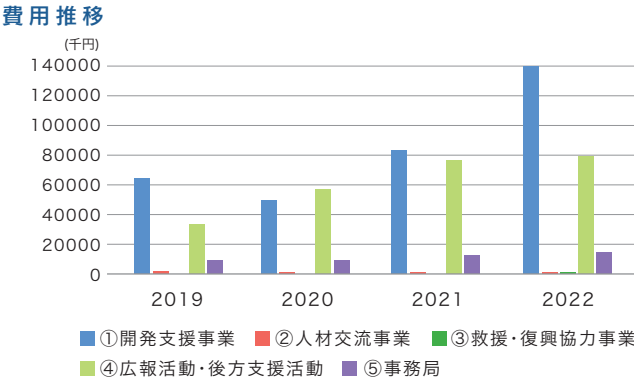
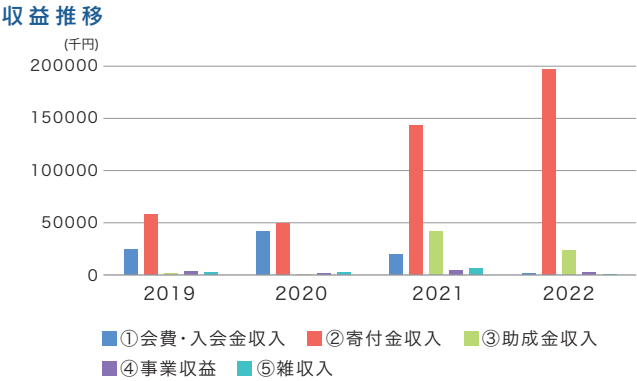
会計報告



活動計算書 (単位:円)

経常収益	①会費・入会金収入	751,000
	②寄付金収入	196,090,679
	③助成金収入	23,844,943
	④事業収益	5,942,713
	⑤雑収入	50,464
	経常収益計(A)	226,679,799
経常費用	①生活改善事業(開発支援事業)※	139,227,248
	②交流推進事業(人材交流事業)	145,627
	③救援・復興協力事業	149,724
	④広報活動・後方支援活動	79,823,682
	⑤事務局	13,158,268
	経常費用計(B)	232,504,549
為替差損(C)		825,260
法人税(D)		81,000
当期正味財産増減額(A-B-C-D)		-6,731,010
前期繰越正味財産額		229,777,329
次期繰越正味財産額		223,046,319

※①生活改善事業(開発支援事業)のスーダン事業費に一部詳細を確認できていない支出があります。これは、2023年4月15日からのスーダンの政情混乱で現地事務所を設置している地域で武力衝突が頻発しており、会計資料の入手が安全管理上著しく困難になっているためです。詳細につきましては、ホームページに公開している活動計算書をご確認ください。<https://www.rocinantes.org/about/information/>



組織体制

ロシナンテスで活動しているメンバー

スーダン事務所

理事長 兼
スーダン現地代表
川原 尚行

プログラム・
コーディネーター
岩吹 綾子

オペレーション・
マネージャー
七條 孝司

渉外
イプティサム

事業担当
タグワ

経理/総務
ラビア

ドライバー
アードム

クリーナー
イルハーム

ザンビア事務所

プロジェクト・
マネージャー
田中 陽介

プロジェクト・
コーディネーター
佐藤 良

フィールド・
コーディネーター
グリフィン

フィールド・
コーディネーター
セシリア

プロジェクト・
アシスタント
ダリオ

オフィスキーパー
キャサリン

ドライバー
ロナルド

東京事務所

広報・
ファンドレイジング
マネージャー
立花 香澄

広報・
ファンドレイジング
神 裕子

インターン
竹山 華

インターン
青木 あかり

インターン
林 航太郎

インターン
久保 梓

北九州本部

経理/総務
宮崎 毅

支援者
リレーションズ
吉川 操

支援者
リレーションズ
塩田 愛

支援者
リレーションズ
切通 陽子

支援者
リレーションズ
弓場 愛佳

役員一覧

理事長	川原 尚行
副理事長	竹中 賢治
監事	樋上 弥寿子
監事	神尾 康生

理事	片山 憲一
理事	高山 義浩
理事	武藤 義博
理事	海原 六郎
理事	星野 賢一郎

組織概要

名称	特定非営利活動法人ロシナンテス
略称	認定NPO法人ロシナンテス
設立	2005年10月(NPO法人設立 2006年5月)
所在地	〒802-0082 福岡県北九州市小倉北区古船場町1番35号 北九州市立商工貿易会館7階

13

ANNUAL REPORT 2022.4-2023.3 14